
市川町景気動向調査

2021年10-12月期

市川町商工会

目 次

I. 調査要領.....	- 1 -
1. 調査目的.....	- 1 -
2. 全国および兵庫県の経済動向調査.....	- 1 -
3. 管内調査.....	- 1 -
II. 全国および兵庫県の経済動向.....	- 2 -
III. 管内調査結果.....	- 3 -
1. 売上高の状況.....	- 3 -
2. 採算（経常利益）の状況.....	- 4 -
3. 資金繰りの状況.....	- 7 -
4. 人材の状況.....	- 10 -
5. 業況の状況.....	- 14 -
6. 設備投資の実施状況.....	- 16 -
7. 最も優先すべき経営上の課題.....	- 17 -

1. 調査要領

1. 調査目的

管内の中小・小規模事業者の景気動向について、その実態を把握すると共に、全国及び兵庫県内の情勢との違いを把握する。

2. 全国および兵庫県の経済動向調査

全国及び兵庫県の景気動向指数、中小企業景況、住宅着工件数、有効求人倍率、倒産件数の動向について整理した。

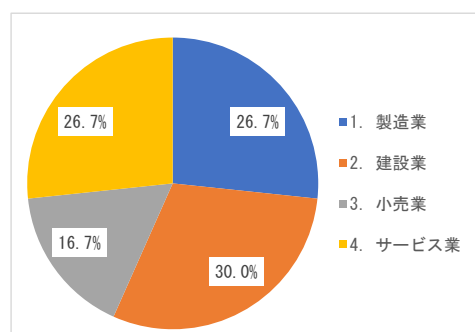
3. 管内調査

市川町商工会管轄内の企業を対象に、アンケート調査を実施した。

(1) 対象企業数…30 企業

〈内訳〉

製造業	8 社
建設業	9 社
小売業	5 社
サービス業	8 社



(2) 調査方法…商工会の職員による訪問面接調査

(3) 調査対象期間…2021 年 10 月から 12 月の第 3 四半期を対象とした。

※指標について

本報告書のD I とは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目において増加・上昇・好転とした企業割合から、減少・低下・悪化とした企業割合を引いたものである。

II. 全国および兵庫県の経済動向

景気総合指数

兵庫県の先行指数と遅行指数(R3.11)は、前月を下回った。一致指数は前月を上回った。

	指数名	R3.9	R3.10	R3.11
兵庫県	先行	101.2	103.9	103.7
	一致	77.3	78.1	78.3
	遅行	90.1	93.7	90.3
全国	先行	100.2	101.5	103.0
	一致	88.7	89.8	93.6
	遅行	93.4	93.1	93.6

出所：「兵庫県の経済雇用情勢」

中小企業景況調査

兵庫県の中小企業の景況は悪化状況が続いているが、非製造業ではマイナス幅が縮小している。製造業は前期より大幅に悪化した。

前期比（「好転」－「悪化」）構成比（％）

	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12
全産業	▲24.2	▲19.5	▲17.1
製造業	▲10.0	▲12.7	▲23.0
非製造業	▲29.8	▲20.2	▲16.9

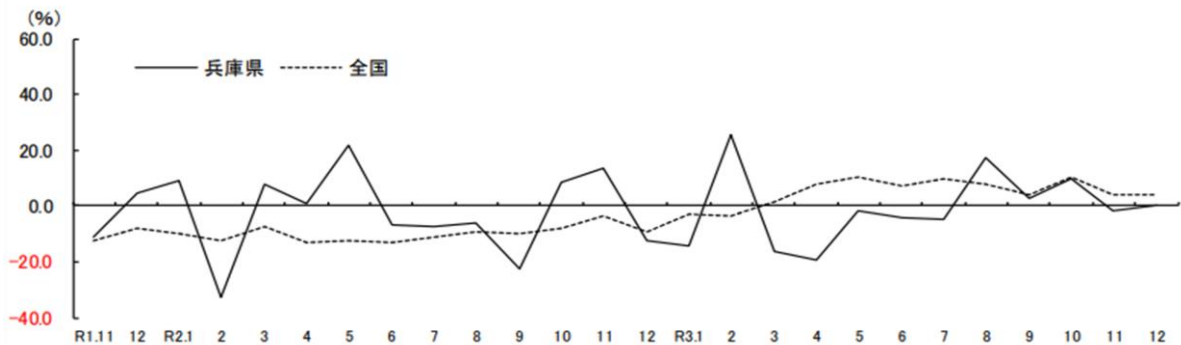
出所：独立行政法人中小企業基盤整備機構

住宅着工件数

兵庫県の新設住宅着工戸数(R3.12)は、前年同月と同水準であった。

	R3.10	R3.11	R3.12
戸数	2,700	2,810	2,593
前年度比(%)	9.6	▲1.4	0.0

新設住宅着工戸数増減率



出所：国土交通省

有効求人倍率

姫路管内の有効求人倍率(R3.12)は1.32倍、兵庫県では0.99倍となった。

	R3.12		
	姫路※	兵庫県	全国
有効求人倍率	1.32	0.99	1.26
新規求人数	3,569	28,398	810,380
前年度比(%)	7.7	5.3	12.2

※姫路市・宍粟市・たつの市・神崎郡・揖保郡を含む姫路ハローワーク管轄内

出所：厚生労働省、同兵庫労働局

倒産件数

兵庫県の企業倒産件数は、10月から11月に増え、同じ件数で推移した。全国の12月は32年ぶりの低水準となった。

		R3.10	R3.11	R3.12
兵庫県	件数	23	30	30
	前年度比(%)	▲32.4	▲25.0	0.0
全国	件数	525	510	504
	前年度比(%)	▲15.9	▲10.4	▲9.7

出所：(株)東京商工リサーチ

Ⅲ. 管内調査結果

1. 売上高の状況

(1) 売上高D I

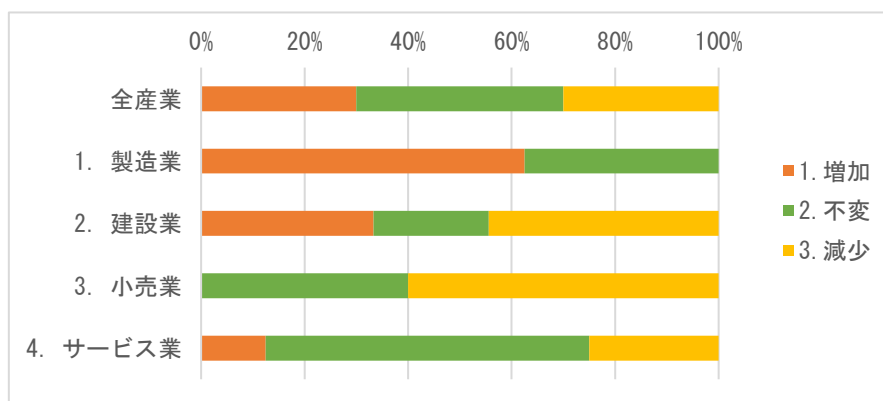
今期の全産業売上高D Iはゼロとなり、前々期から3期連続で数値が悪化した。業種別では、製造業は改善した一方で、サービス業は悪化した。建設業と小売業は前期と同じ数値であった。

兵庫県や全国では、ほとんどの業種で数値が改善した。市川町内とは真逆の動向を示している。

図表1. 業種別の売上高D I

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	9	12	9	30	30.0	40.0	30.0	0.0	▲ 10.4	▲ 23.3
1. 製造業	5	3	0	8	62.5	37.5	0.0	62.5	15.2	▲ 8.3
2. 建設業	3	2	4	9	33.3	22.2	44.4	▲ 11.1	▲ 7.7	▲ 16.3
3. 小売業	0	2	3	5	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0	▲ 18.8	▲ 34.4
4. サービス業	1	5	2	8	12.5	62.5	25.0	▲ 12.5	▲ 21.9	▲ 26.3



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	12	7	11	30	40.0	23.3	36.7	3.3	▲ 29.0	▲ 32.3
1. 製造業	4	3	1	8	50.0	37.5	12.5	37.5	▲ 2.1	▲ 12.6
2. 建設業	3	2	4	9	33.3	22.2	44.4	▲ 11.1	▲ 27.0	▲ 18.0
3. 小売業	1	0	4	5	20.0	0.0	80.0	▲ 60.0	▲ 35.4	▲ 42.9
4. サービス業	4	2	2	8	50.0	25.0	25.0	25.0	▲ 42.5	▲ 41.3

(2) 売上が増加、または減少した理由

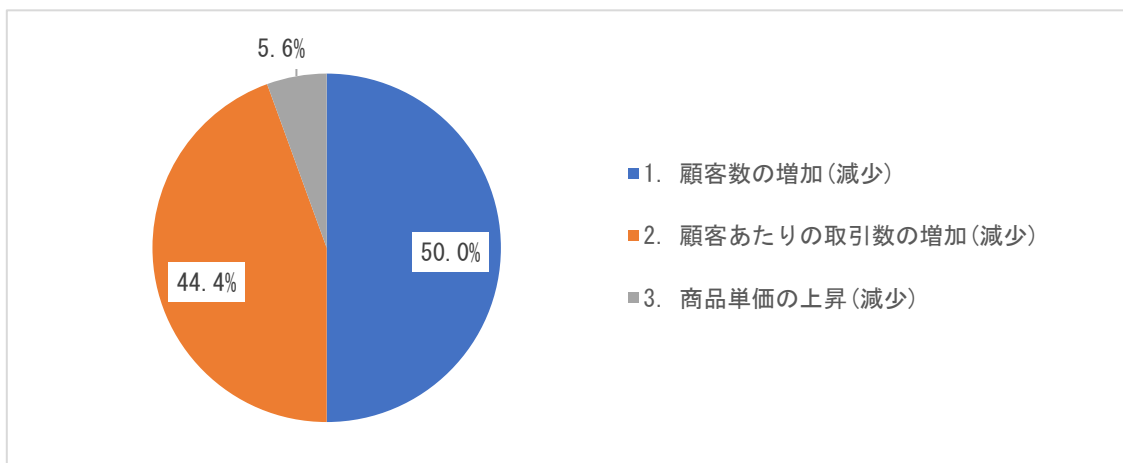
売上が増減したと回答した事業所 18 所のうち、半数の 9 所が主な理由を「顧客数の増減」とした。次に、「顧客あたりの取引数の増減」と回答した事業所が約 45%あった。「顧客数の増加（減少）」の影響は依然として最も大きい、「顧客あたりの取引数の増加（減少）」が増加している。

なお、売上が増加した事業所は 9 所あり、増加理由は「顧客数の増加」が 33.3%、「顧客あたりの取引数の増加」が 66.7%となり、「商品単価の上昇」とした事業所はいなかった。

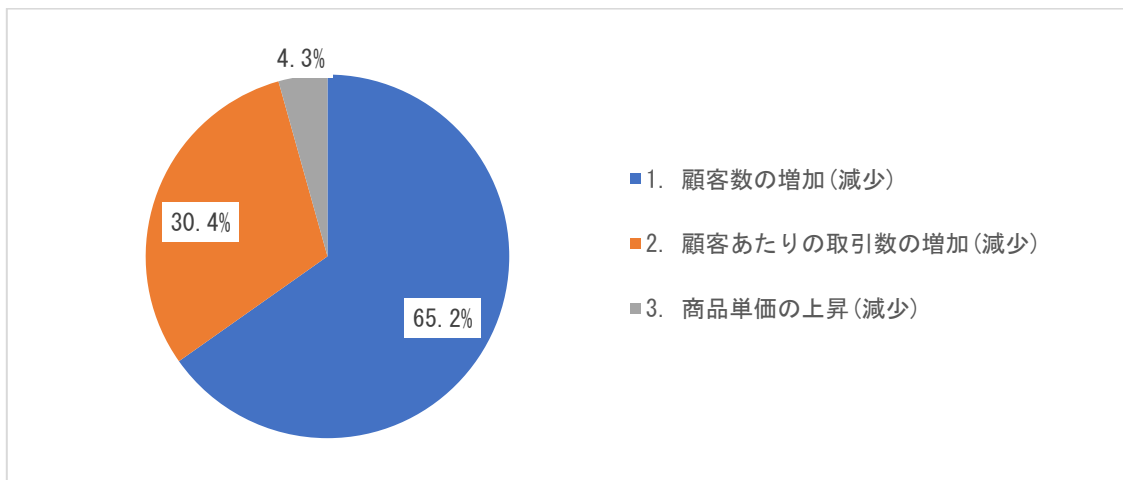
売上が減少した事業所も 9 所あり、減少理由は「顧客数の減少」が 66.7%と多く、「顧客あたりの取引数の減少」が 22.2%、「商品単価の減少」が 11.1%だった。

図表 2. 売上高増減の理由

【今期調査結果】



【参考：前期調査結果】



2. 採算（経常利益）の状況

(1) 採算D I

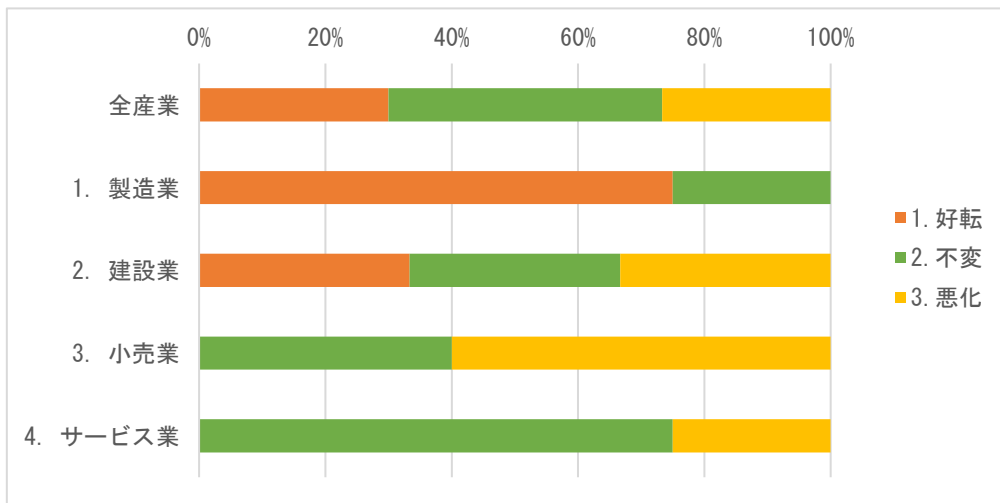
今期の全産業採算D Iは3.3となり、前期の▲3.3より改善した。業種別に見ると、サービス業を除く製造業、建設業、小売業では改善している。サービス業の採算D Iは、売上高D Iと同じく低下している。

兵庫県と全国の数値では、兵庫県の建設業を除き、改善傾向にある。

図表3 業種別の採算D I

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	9	13	8	30	30.0	43.3	26.7	3.3	▲ 22.3	▲ 31.0
1. 製造業	6	2	0	8	75.0	25.0	0.0	75.0	2.2	▲ 20.3
2. 建設業	3	3	3	9	33.3	33.3	33.3	0.0	▲ 46.2	▲ 24.4
3. 小売業	0	2	3	5	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0	▲ 29.2	▲ 41.0
4. サービス業	0	6	2	8	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	▲ 24.6	▲ 32.2



【参考：前期調査結果】

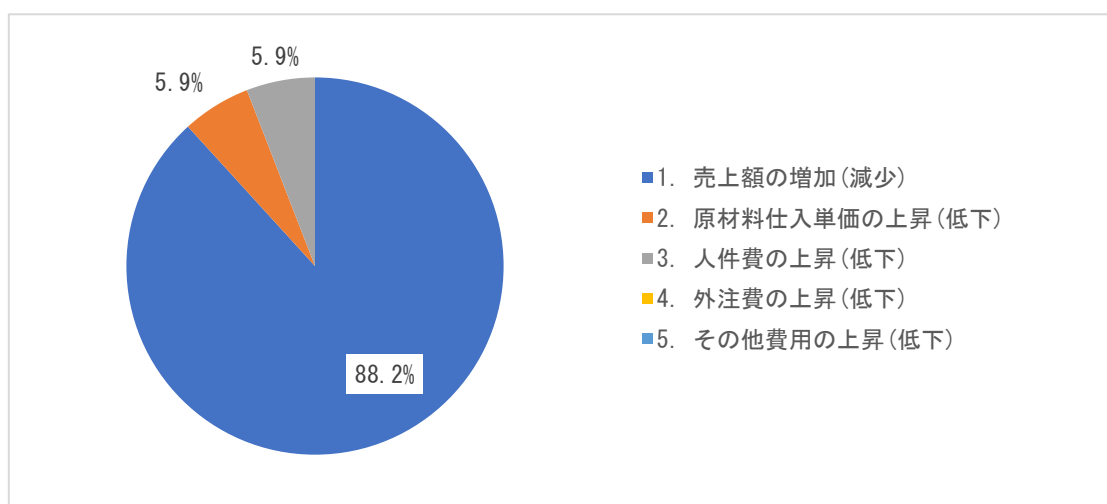
	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	10	9	11	30	33.3	30.0	36.7	▲ 3.3	▲ 28.5	▲ 36.3
1. 製造業	5	2	1	8	62.5	25.0	12.5	50.0	▲ 8.7	▲ 23.2
2. 建設業	2	4	3	9	22.2	44.4	33.3	▲ 11.1	▲ 46.2	▲ 26.2
3. 小売業	0	1	4	5	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0	▲ 37.5	▲ 44.0
4. サービス業	3	2	3	8	37.5	25.0	37.5	0.0	▲ 28.8	▲ 41.8

(2) 採算が好転、または悪化した理由

採算が好転、または悪化したと回答した事業所 17 所のうち、「売上高の増減(88.2%)」とした事業所が 15 所あった。残りは「原材料仕入単価の上昇(低下)」、「人件費の上昇(低下)」とした事業所が 1 所ずつあった。

採算が好転した事業所は 9 所あり、「売上額の増加(88.9%)」が 8 所、「人件費の低下(11.1%)」とした事業所が 1 所あった。採算が悪化した事業所は 8 所あり、そのうち、「売上高の減少(87.5%)」が 7 所、「原材料仕入単価の上昇(12.5%)」とした事業所が 1 所あった。

図表 4. 採算好転悪化の理由



3. 資金繰りの状況

(1) 資金繰りDI

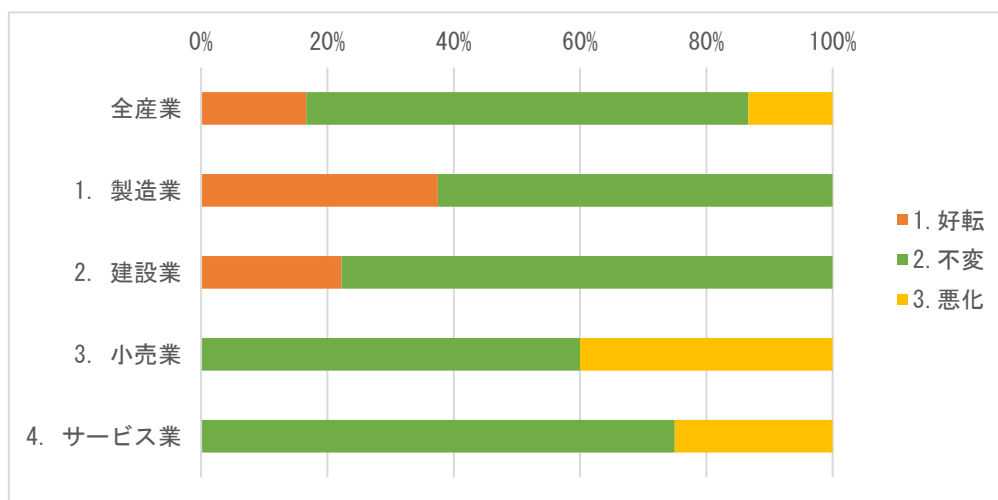
今期の全産業資金繰りDIは3.3で、前期から20ポイント改善した。業種別では、製造業と建設業が大きく数値を改善している。小売業とサービス業では、数値が大きく低下した。

兵庫県と全国では、全国の建設業を除き、数値は改善している。市川町内の小売業、サービス業は、兵庫県と全国に比べて資金繰りの状況が悪化している。

図表5. 業種別の資金繰りDI

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	5	21	4	30	16.7	70.0	13.3	3.3	▲ 13.7	▲ 18.4
1. 製造業	3	5	0	8	37.5	62.5	0.0	37.5	▲ 6.5	▲ 13.1
2. 建設業	2	7	0	9	22.2	77.8	0.0	22.2	▲ 19.3	▲ 11.4
3. 小売業	0	3	2	5	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 25.3
4. サービス業	0	6	2	8	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 19.1



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	1	23	6	30	3.3	76.7	20.0	▲ 16.7	▲ 18.3	▲ 23.2
1. 製造業	0	7	1	8	0.0	87.5	12.5	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 15.1
2. 建設業	1	5	3	9	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2	▲ 26.9	▲ 10.0
3. 小売業	0	4	1	5	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 28.0
4. サービス業	0	7	1	8	0.0	87.5	12.5	▲ 12.5	▲ 21.1	▲ 29.4

(2) 取引先からの資金回収

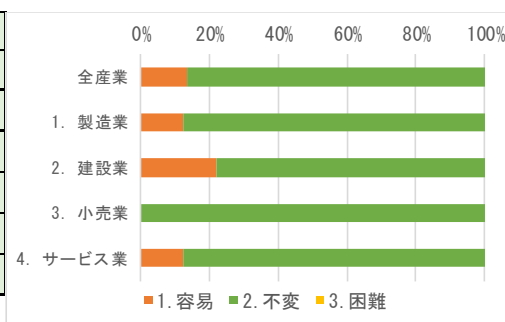
今期の全産業資金回収DIは13.3で、前期より10ポイント以上改善している。小売業は前期と同水準だったが、製造業・建設業・サービス業の数値は改善している。

前期に比べると、今期は資金回収を「困難」とした事業所がない点が、特徴的である。

図表6. 業種別の資金回収DIの状況

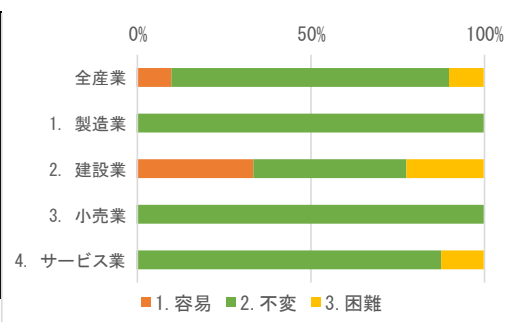
【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町
	1.容易	2.不変	3.困難	合計	1.容易	2.不変	3.困難	DI
全産業	4	26	0	30	13.3	86.7	0.0	13.3
1. 製造業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5
2. 建設業	2	7	0	9	22.2	77.8	0.0	22.2
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0
4. サービス業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町
	1.容易	2.不変	3.困難	合計	1.容易	2.不変	3.困難	DI
全産業	3	24	3	30	10.0	80.0	10.0	0.0
1. 製造業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0
2. 建設業	3	4	2	9	33.3	44.4	22.2	11.1
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0
4. サービス業	0	7	1	8	0.0	87.5	12.5	▲ 12.5



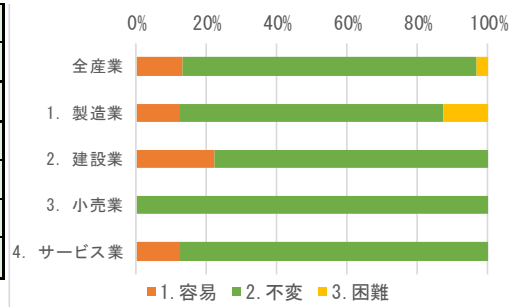
(3) 借入の容易さ

今期の全産業借入の容易さDIは10で、前期の▲3.3から改善した。業種別では、製造業とサービス業が改善し、建設業と小売業は前期と同じ水準だった。借入を「容易」とする事業所が2所増え、「困難」とする事業所が2所減った。

図表7. 業種別の借入DIの状況

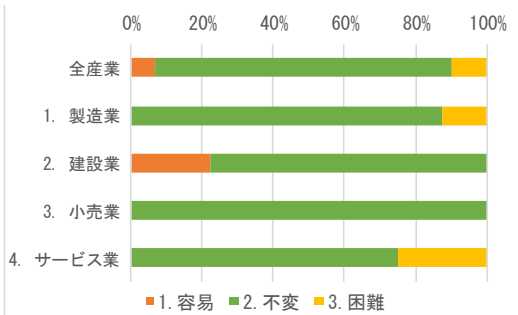
【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町
	1.容易	2.不変	3.困難	合計	1.容易	2.不変	3.困難	DI
全産業	4	25	1	30	13.3	83.3	3.3	10.0
1. 製造業	1	6	1	8	12.5	75.0	12.5	0.0
2. 建設業	2	7	0	9	22.2	77.8	0.0	22.2
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0
4. サービス業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町
	1.容易	2.不変	3.困難	合計	1.容易	2.不変	3.困難	DI
全産業	2	25	3	30	6.7	83.3	10.0	▲3.3
1. 製造業	0	7	1	8	0.0	87.5	12.5	▲12.5
2. 建設業	2	7	0	9	22.2	77.8	0.0	22.2
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0
4. サービス業	0	6	2	8	0.0	75.0	25.0	▲25.0



4. 人材の状況

(1) 人材D I

今期の全産業人材D Iは▲13.3で、前期の▲26.7より改善した。

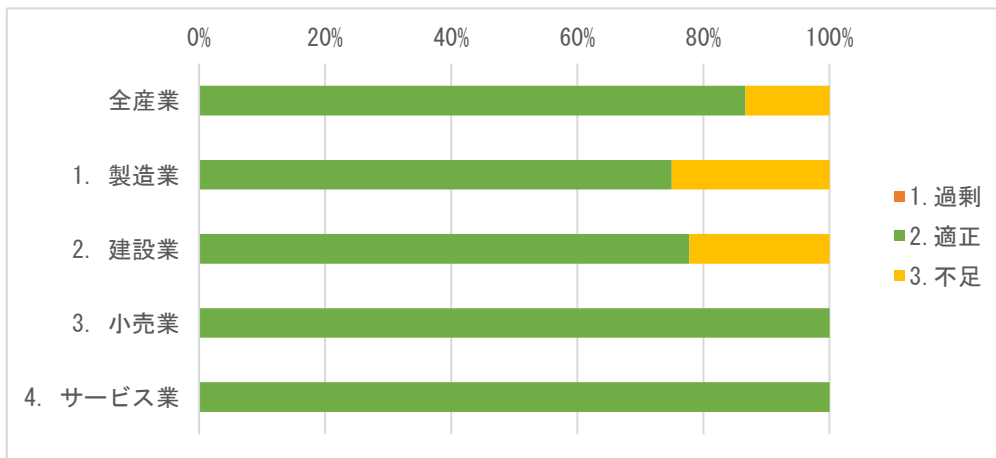
前期はサービス業で「人材が過剰」と回答した事業所が1所あった。「人員が不足」と回答した事業所4所まで減少した。「適正」と回答した事業所が6所増え、人員不足が解消された事業所が多いと推察する。

全国では、各産業で人材不足を感じている事業所が多い。兵庫県でも、小売業を除き、人材不足を感じている事業所が多い。

図表8. 業種別人材D I

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.過剰	2.適正	3.不足	合計	1.過剰	2.適正	3.不足	DI	DI	DI
全産業	0	26	4	30	0.0	86.7	13.3	▲ 13.3	▲ 15.3	—
1. 製造業	0	6	2	8	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	▲ 13.7	▲ 18.3
2. 建設業	0	7	2	9	0.0	77.8	22.2	▲ 22.2	▲ 45.8	▲ 32.6
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	▲ 10.2
4. サービス業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 15.2	▲ 14.3



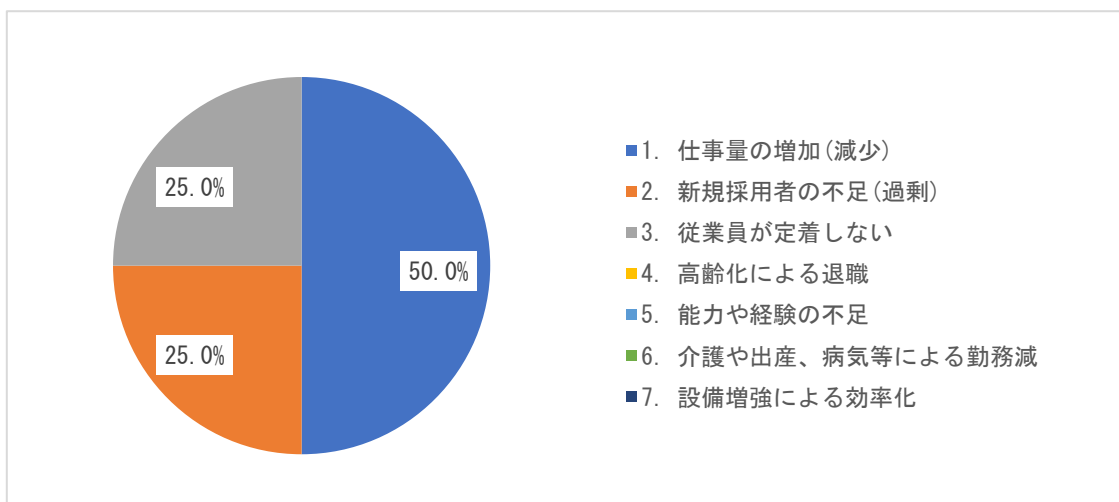
【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.過剰	2.適正	3.不足	合計	1.過剰	2.適正	3.不足	DI	DI	DI
全産業	1	20	9	30	3.3	66.7	30.0	▲ 26.7	▲ 10.5	—
1. 製造業	0	5	3	8	0.0	62.5	37.5	▲ 37.5	▲ 13.0	▲ 13.4
2. 建設業	0	3	6	9	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7	▲ 29.1	▲ 31.5
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 4.8	▲ 6.8
4. サービス業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5	▲ 5.8	▲ 9.7

(2) 人材が過剰又は不足の理由

人材に過不足があると回答した事業所は4所で、いずれも「不足」と回答した。最も多かった理由は「仕事量の増減 (50.0%)」であり、次に、「新規採用者の不足 (25.0%)」「従業員が定着しない (25.0%)」となった。

図表9. 人材過不足の理由



(3) 従業員数（含む臨時・パート）

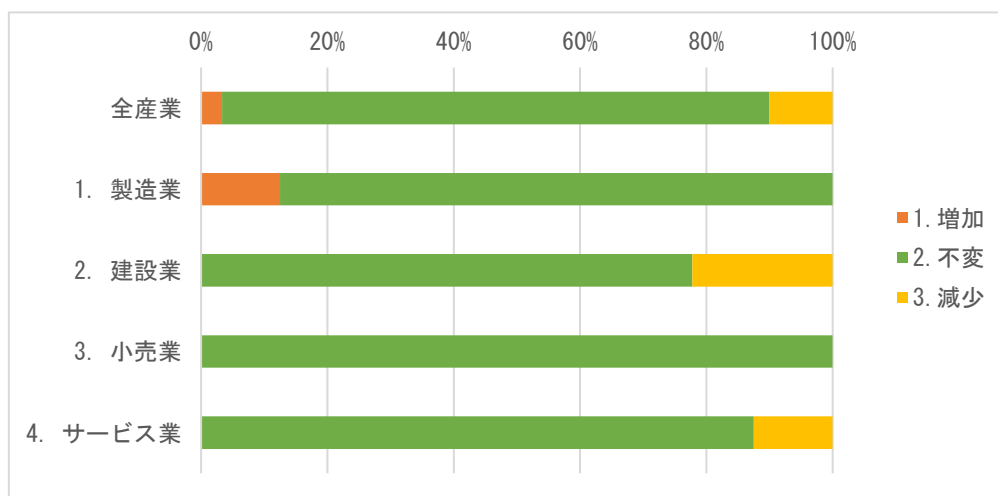
今期の従業員数DIは▲6.7で、前期の▲3.3から低下した。建設業のDI減少が要因である。製造業・小売業・サービス業は前期と同じ数値で推移した。

全国では、各業種でやや改善した。兵庫県では、全産業でマイナス値がやや縮小したものの、建設業・小売業・サービス業では数値が低下した。製造業のみが約10ポイント改善している。

図表10. 業種別の従業員数DI

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	1	26	3	30	3.3	86.7	10.0	▲ 6.7	▲ 4.6	—
1. 製造業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5	0.0	▲ 5.3
2. 建設業	0	7	2	9	0.0	77.8	22.2	▲ 22.2	▲ 4.4	▲ 4.8
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 4.8	▲ 2.8
4. サービス業	0	7	1	8	0.0	87.5	12.5	▲ 12.5	▲ 7.7	▲ 5.8



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	2	25	3	30	6.7	83.3	10.0	▲ 3.3	▲ 5.1	—
1. 製造業	1	7	0	8	12.5	87.5	0.0	12.5	▲ 10.8	▲ 6.6
2. 建設業	0	8	1	9	0.0	88.9	11.1	▲ 11.1	0.0	▲ 5.7
3. 小売業	0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 2.4	▲ 2.9
4. サービス業	1	5	2	8	12.5	62.5	25.0	▲ 12.5	▲ 4.5	▲ 6.9

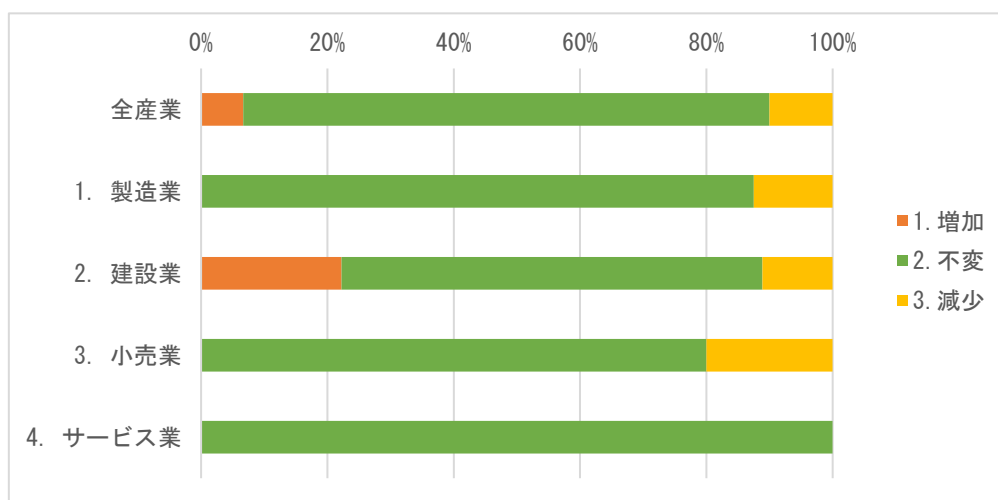
(4) 外部人材

今期の外部人材DIは▲3.3で、前期の10.0から大きく低下した。業種別では、建設業と小売業では減少幅が大きい。製造業とサービス業は、前期と同値であった。
 全国では、数値がやや改善しているが、外部の人材不足の程度は前期とほぼ同じ水準である。兵庫県では、建設業のみ、前期から減少している。

図表 1 1. 業種別の外部人材DI

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	2	25	3	30	6.7	83.3	10.0	▲ 3.3	▲ 2.3	—
1. 製造業	0	7	1	8	0.0	87.5	12.5	▲ 12.5	▲ 6.5	▲ 2.0
2. 建設業	2	6	1	9	22.2	66.7	11.1	11.1	▲ 17.4	▲ 2.0
3. 小売業	0	4	1	5	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 2.2
4. サービス業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0	6.4	▲ 3.7



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.増加	2.不変	3.減少	合計	1.増加	2.不変	3.減少	DI	DI	DI
全産業	5	23	2	30	16.7	76.7	6.7	10.0	▲ 6.6	—
1. 製造業	0	7	1	8	0.0	87.5	12.5	▲ 12.5	▲ 9.7	▲ 2.4
2. 建設業	4	4	1	9	44.4	44.4	11.1	33.3	▲ 13.7	▲ 2.6
3. 小売業	1	4	0	5	20.0	80.0	0.0	20.0	▲ 3.2	▲ 3.0
4. サービス業	0	8	0	8	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 3.8	▲ 5.1

5. 業況の状況

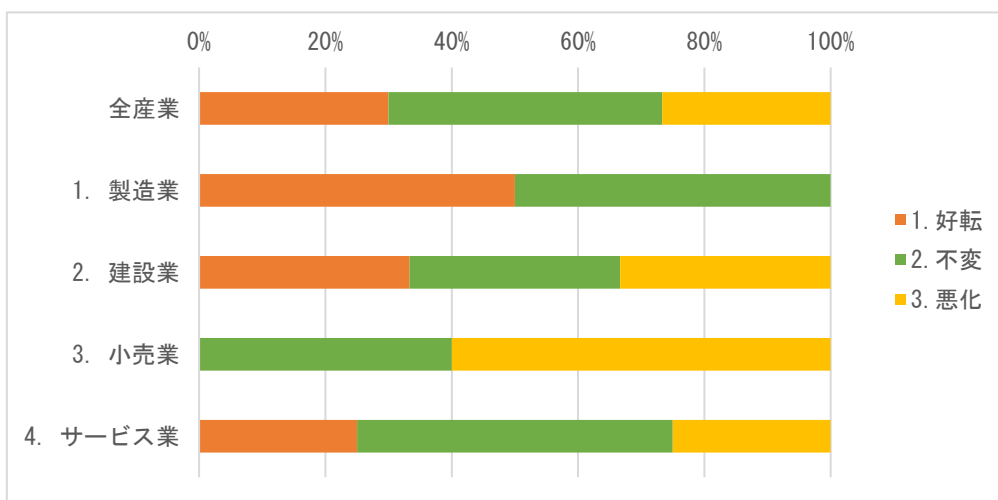
(1) 業況DI

今期の全産業業況DIは3.3で、前期の▲3.3より改善した。業種別では、製造業とサービス業は改善したが、小売業ではマイナス幅が拡大した。建設業は、前期と同値である。全国では各業種で改善傾向となった。兵庫県内でも、全業種とも改善傾向である。特に、製造業とサービス業の改善幅が大きい。

図表12. 業種別の業況DI

【今期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	9	13	8	30	30.0	43.3	26.7	3.3	▲ 13.5	—
1. 製造業	4	4	0	8	50.0	50.0	0.0	50.0	4.3	▲ 13.7
2. 建設業	3	3	3	9	33.3	33.3	33.3	0.0	▲ 23.1	▲ 14.8
3. 小売業	0	2	3	5	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0	▲ 25.0	▲ 38.3
4. サービス業	2	4	2	8	25.0	50.0	25.0	0.0	▲ 13.7	▲ 26.5



【参考：前期調査結果】

	企業数				構成比			市川町	兵庫県	全国
	1.好転	2.不変	3.悪化	合計	1.好転	2.不変	3.悪化	DI	DI	DI
全産業	6	17	7	30	20.0	56.7	23.3	▲ 3.3	▲ 28.1	—
1. 製造業	3	4	1	8	37.5	50.0	12.5	25.0	▲ 13.3	▲ 18.0
2. 建設業	2	5	2	9	22.2	55.6	22.2	0.0	▲ 27.0	▲ 16.5
3. 小売業	0	3	2	5	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 43.9
4. サービス業	1	5	2	8	12.5	62.5	25.0	▲ 12.5	▲ 34.2	▲ 42.3

(2) 業況判断の背景 (自由回答)

「需要が大きくなってきている」と回答する製造業が1社あった。前期は「コロナの影響はほぼなくなった」「お客様は戻っている」という回答があったが、今回はそのような回答は見られなかった。

逆に、「コロナ関係で厳しい」「緊急事態宣言やまん延防止法等で来店客数が減少している」「木材や設備の仕入が遅れ、工事が止まった」と悪影響に関する回答が増えた。新型コロナウイルスの影響が、尾を引いている状況が浮き彫りになった。

6. 設備投資の実施状況

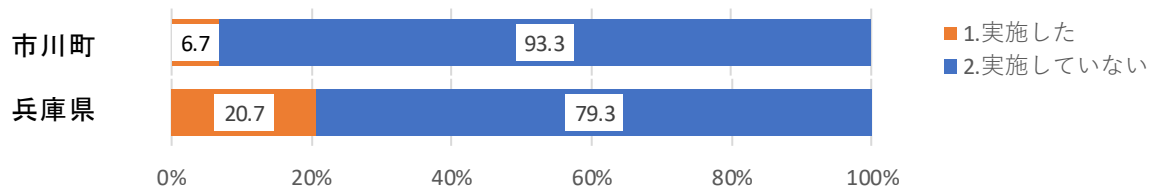
(1) 今期の設備投資

今期に設備投資した事業所は6.7%であった。前回より10%以上低下している。前期で投資を行った事業所が多かった反動と推察する。

図表13. 今期の設備投資実施状況

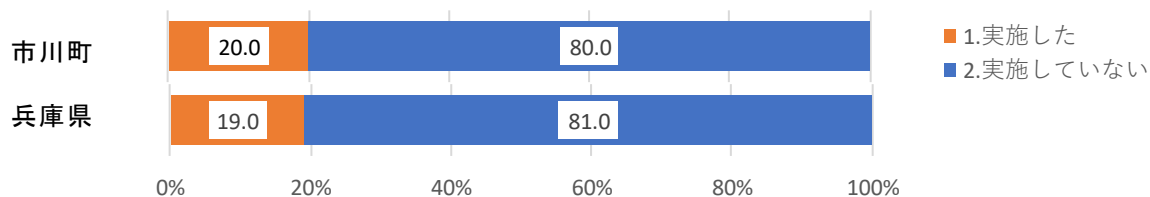
【今期調査結果】

	企業数			構成比		兵庫県構成比		全国構成比	
	1.実施した	2.実施していない	合計	1.実施した	2.実施していない	1.実施した	2.実施していない	1.実施した	2.実施していない
全産業	2	28	30	6.7	93.3	20.7	79.3	—	—
1. 製造業	0	8	8	0.0	100.0	21.7	78.3	16.5	83.5
2. 建設業	1	8	9	11.1	88.9	19.2	80.8	17.9	82.1
3. 小売業	0	5	5	0.0	100.0	8.3	91.7	11.5	88.5
4. サービス業	1	7	8	12.5	87.5	27.4	72.6	16.7	83.3



【参考：前期調査結果】

	企業数			構成比		兵庫県構成比		全国構成比	
	1.実施した	2.実施していない	合計	1.実施した	2.実施していない	1.実施した	2.実施していない	1.実施した	2.実施していない
全産業	6	24	30	20.0	80.0	19.0	81.0	—	—
1. 製造業	1	7	8	12.5	87.5	15.2	84.8	16.4	83.6
2. 建設業	1	8	9	11.1	88.9	11.5	88.5	16.4	83.6
3. 小売業	1	4	5	20.0	80.0	14.6	85.4	12.1	87.9
4. サービス業	3	5	8	37.5	62.5	23.0	77.0	15.6	84.4



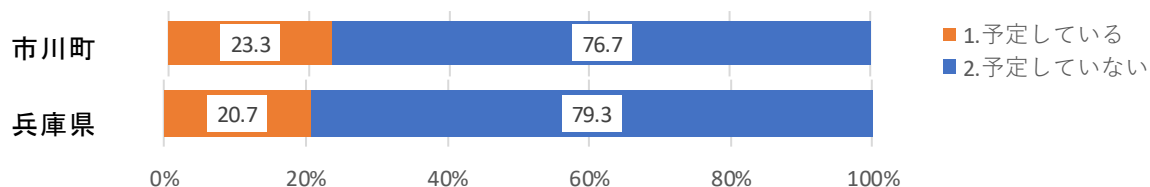
(2) 来期の設備投資

来期に設備投資を予定している事業所は23.3%で、前回よりやや減少した。建設業で投資を予定している事業所が多い。

図表14. 来期の設備投資計画

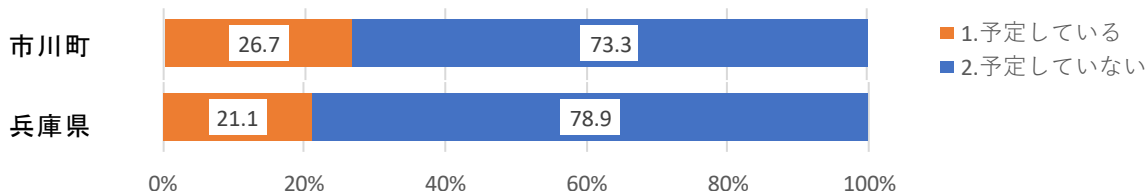
【今期調査結果】

	企業数			構成比		兵庫県構成比		全国構成比	
	1.予定している	2.予定していない	合計	1.予定している	2.予定していない	1.予定している	2.予定していない	1.予定している	2.予定していない
全産業	7	23	30	23.3	76.7	20.7	79.3	—	—
1. 製造業	1	7	8	12.5	87.5	15.2	84.8	17.4	82.6
2. 建設業	5	4	9	55.6	44.4	7.7	92.3	15.9	84.1
3. 小売業	0	5	5	0.0	100.0	22.9	77.1	10.5	89.5
4. サービス業	1	7	8	12.5	87.5	24.7	75.3	15.0	85.0



【参考：前期調査結果】

	企業数			構成比		兵庫県構成比		全国構成比	
	1.予定している	2.予定していない	合計	1.予定している	2.予定していない	1.予定している	2.予定していない	1.予定している	2.予定していない
全産業	8	22	30	26.7	73.3	21.1	78.9	—	—
1. 製造業	3	5	8	37.5	62.5	15.2	84.8	17.6	82.4
2. 建設業	4	5	9	44.4	55.6	15.4	84.6	14.6	85.4
3. 小売業	0	5	5	0.0	100.0	20.8	79.2	11.2	88.8
4. サービス業	1	7	8	12.5	87.5	25.7	74.3	15.2	84.8



7. 最も優先すべき経営上の課題

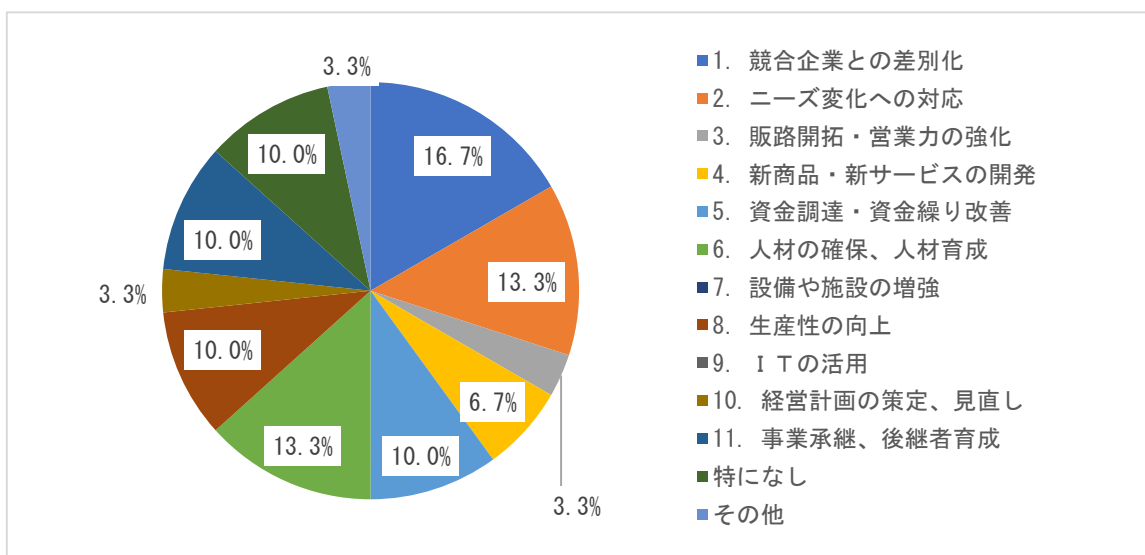
今期に最も優先すべき経営上の課題は、「競合企業との差別化」が16.7%と最も多かった。次いで、「ニーズ変化への対応」「人材の確保、人材育成」が13.3%と続く。

まん延防止法等の状況を鑑み、自社の競争力強化を志向する事業所が多かったと推察する。一方で、「今は現状維持」と回答する事業所もあった。また、経営上の課題は「特になし」と回答した事業所が3社あった。

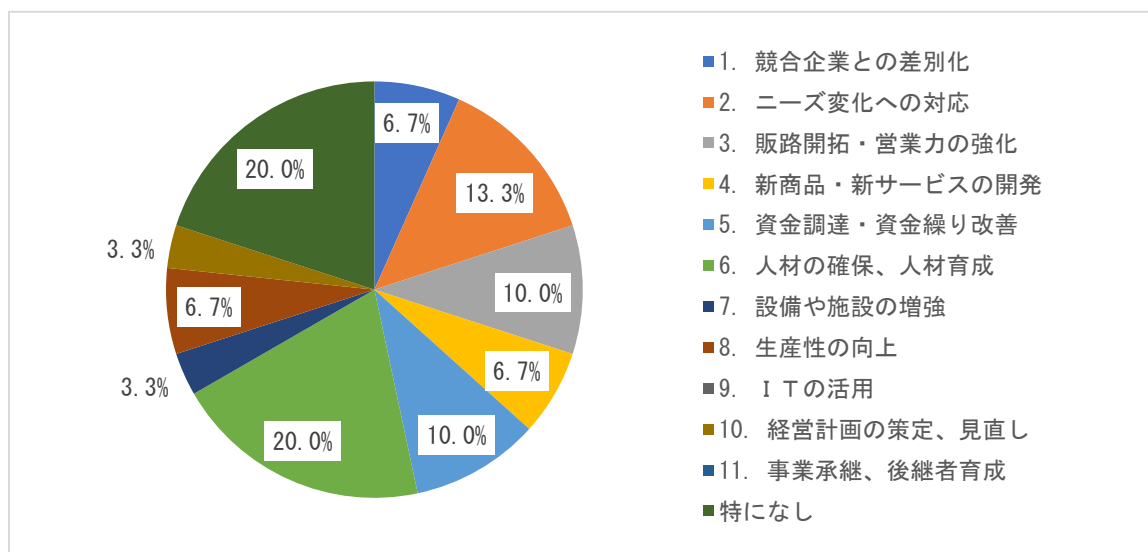
これらの事業所の売上高は、「不変」もしくは「減少」となっていた点を踏まえると、経営上の課題を正確に認識できていない可能性がある。これらの課題を抽出し、何らかの方策を講じる働きかけが必要である。

図表15. 経営上の課題

【今期調査結果】



【参考：前期調査結果】



【参考資料】 自由記述回答

問 3-13 業況判断の背景について、貴社が感じておられることをお書きください。

今はコロナ禍の下、現状維持できれば良い

需要が大きくなってきている

オミクロン株の蔓延で多少苦戦を強いられています。

材料費の値上がりが収益を悪化させている

コロナの関係で厳しい部分があり明日が乗り越えます

緊急事態宣言やまん延防止等の影響で来店客数が減少している

木材や設備の仕入れが遅れ、工事がとまってしまう現場が多かった

問 4 その他、地域の景況についてや商工会へのご意見ご要望など、ご自由にお書きください。

お昼営業の中小企業にも協力金を少しほしいです。

いつもまことにありがとうございます、情報など引き続きよろしくお願いします。